



DIGI REMOTE MANAGER

セキュアな資産監視・制御を実現する包括的なIoTデバイスマネジメントアプリケーション

モノのインターネット(IoT)の実現には、最も信頼性の高い通信接続が必要になります。データセキュリティ、プロセス改善、および従業員の安全性に関して、あまりにも多くの課題が存在しています。分散型IoTデバイスを監視・制御するセキュアな管理アプリケーションであるDigi Remote Manager(DRM)を使用すれば、ネットワーク管理者は単一のコマンドと制御インタフェースを使ってパフォーマンス要件を継続的に更新・維持できます。

分散デバイスのIoTネットワークの運用には、多くのことがうまくいかない可能性があります。完全なリモートデバイスの追跡とセキュリティによりデバイスを保護するコンプライア

ンスのために、フィールド内のすべてのユニットの設定を変更・維持する大量のファームウェアおよびソフトウェアアップデートを自動化し、また、データの流れを維持しなければなりません。DRMはリモートデバイスを診断ならびに修正にも役立ちます。コストのかかる出張サービスなしでこれらを実現します。

IoTネットワークマネジメントソフトウェアがあれば、配備後のデバイスやネットワーク機器に安全にセキュアにアクセスできるようになります。ファームウェアの更新だけでなく、状況や状態を監視・評価することでネットワーク全体のセキュリティを確保します。

主な機能

デバイスヘルス

正常稼働している機器に性能パラメータを設定し、ネットワーク問題に先んじてレポートとアラームを作成します。

コンプライアンスとセキュリティ

代表的なコンフィグレーションを定義し、適合外のデバイスを調査・調整することで、セキュリティ適合(PCI、HIPAA、NISTなど)を維持します。

ファームウェアアップデート

新規ファームウェアの可用性を通知し、デバイスグループへのアップデートを一度にスケジューリングします。

Digi TransPortに最適化

- サービスレベルコミットメントに適合
- PCI標準への適合を維持
- デバイスの稼働状態を保持
- お客様のネットワーク管理ツールを補完

IoTオペレータ向けに設計

- ネットワーク運用
- システムアドミニストレータ
- ネットワークエンジニアリング
- ネットワークアドミニストレータ

クラウド互換性とエッジコンピューティングの融合

DRMは、事実上すべてのクラウドと分析プラットフォームとの高い互換性を提供し、IoTネットワークおよびデバイスの配備・管理をより迅速かつ容易にします。ビジネスプロセスを改善し、変化する運用ニーズに対応し、意思決定を迅速化するために、Digiエッジデバイスから収集されたデータにアクセス・接続し、分析します。

いかなるデバイスでもあらゆるクラウドプラットフォームに接続

コンフィグレーション済みのAPIは、新たな開発設計を必要とすることなくDigiエッジデバイスから収集されたデータへのアクセス、接続、分析をユーザーが迅速かつ簡単に行えるようにします。クラウドコネクタは、業界をリードするサードパーティの分析・視覚化ダッシュボードアプリケーションとデバイスデータを統合します。接続は簡単な設定で行えます。また、独自のカスタムインテグレーションを作成する必要がある場合は、豊富なWebサービスAPIを利用できます。

ビジネスロジックをエッジに

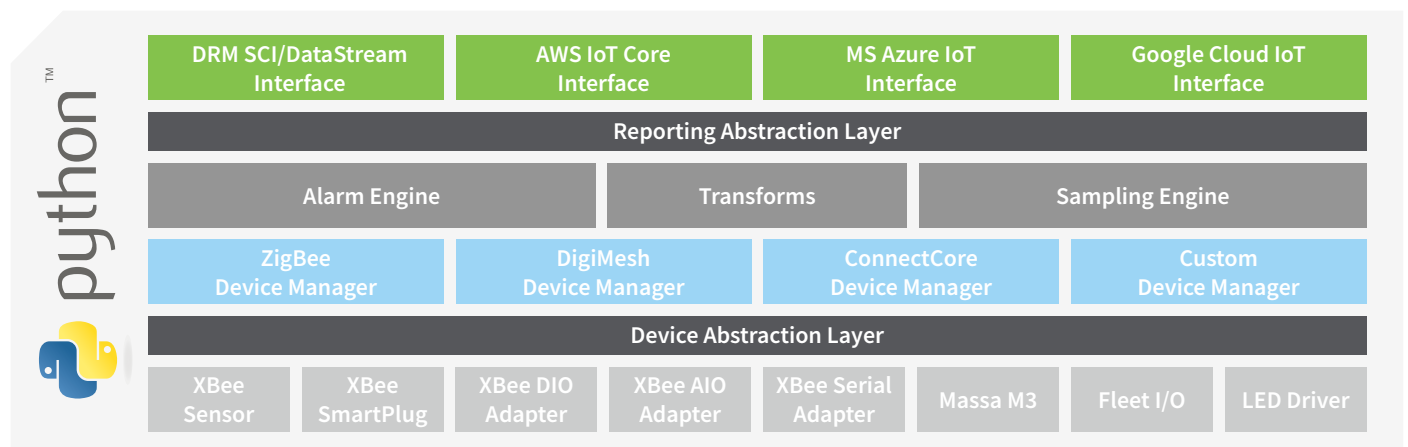
最新世代のDigiルータは、ネットワークエッジでカスタムコードをセキュアに実行できるようになっており、意思決定ロジックをリモートデバイスの設置場所にできるだけ近く移動させ実装することで、セルラー通信費用を削減できます。コンフィグレーション済みのAPIを使用して、エッジデバイスをクラウドまたはサードパーティのアプリケーションに接続することもできます。また、Pythonスクリプトのライブラリは、ビジネスロジックをエッジでカスタマイズするために利用できます。このように、より高レベルでより簡潔な情報をより低い頻度でクラウドに送信することで、低コストで即時実行可能なエッジ環境を実現できます。

Digiがサポートするクラウドおよび分析プラットフォーム:

- AWS
- Azure
- Google
- ThingLogix
- Noregon
- MediumOne
- UniqueID など



各デバイスがIoTクラウドへの固有の帯域外接続を必要とする場合、DRMは各ルータのIoTクラウドの管理を簡素化します。



Digi Remote Managerモバイルアプリ

Digi DRMモバイルアプリによって、QRコードを介してユーザーがデバイスを登録することがさらに容易になります。デバイスをカスタマアカウントに登録すると、プロフィール管理機能を使ってカスタム設定を自動的にダウンロードできます。新しいDRMモバイルアプリを使用して、ネットワーク全体の状態と個々のデバイスの状態を確認できます。



データを安全、健全、セキュアに保ちます

クラウドサービスのセキュリティは急速に変化するパラダイムであり、Digiは、継続的な脅威の測定・監視サービスにより、あらゆる業界標準を満たしつつも、さらに凌駕するセキュリティコントロールの提供をお約束します。

Digiはまた、内部および外部のセキュリティ監査を実施し、新たに発生する脅威について事前通知を行います。クラウドセキュリティチームはデータセキュリティ分野で新たな脅威からの保護に積極的に取り組んでいます。

CISSP、RHCE、CCNP、MCSE、EC-COUNCIセキュリティアナリスト(CSA)、認定ホワイトハッカー(CEH)、ISO 27002リードインプリーメンター認定を取得しています。

すべて揃ったソリューション

- ✓ 迅速なデバイス配備とより容易な資産・在庫管理を実現する業界トップレベルのクラウドおよびエッジツール
- ✓ 双方向通信でネットワーク、デバイス、資産のパフォーマンスとセキュリティを監視
- ✓ 以前は手が届かなかったエッジデバイスからのデータにアクセスし、ビジネスロジックが必要な場所を正確に定義
- ✓ ファームウェアとソフトウェアの一括アップデートの自動化によりコンプライアンスを維持
- ✓ より深い洞察を得るためにオープンAPIでデバイスデータをインテグレート
- ✓ ネットワークとデバイスの状態に関する詳細なレポートとリアルタイムのアラートを受信

NERC / CIPコンプライアンス

DRMは、集中型デバイスのパッチ適用、キャパシティプランニング、集中型ロギング、コンプライアンススキャン、コンプライアンスレポート、変更管理、バックアップ/障害復旧、侵入検知、資産管理といったセキュリティ機能をフィールドデバイスに提供することで、セキュリティコンプライアンス目標を達成します。

HIPAAコンプライアンス

DRMはHIPAA準拠ソリューションの重要なキーコンポーネントです。HIPAAコンプライアンスを満たすために、状態情報のデータコンジットとしてDRMを推奨します。状態情報は処理されないため、HIPAAソリューションの実装を検討しているカスタマは、DRMを通過する間にデータを暗号化するという条件で、ビジネスアソシエイト契約に署名する必要はありません。

ディジ インターナショナル株式会社

www.digi-intl.co.jp

DIGI

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町22-14 NESビルS棟8F
TEL:03-5428-0261 mail@digi-intl.co.jp

© 1996-2019 Digi International Inc.
●記載した仕様は予告なく変更する場合があります。●記載の社名や製品名は各社の商標または登録商標です。

2019/03 (05/319)